

news

マヌカハニーの可能性①

優れた抗菌、抗酸化を併せ持つハチミツ

シクロケム

は、マヌカハニーと同じく抗菌性と腸内環境改善作用を併せ持つ「αシクロデキストリン」を組み合わせた、相乗的に抗菌性が高まることが判明した。

また口臭に関しても市販の口臭ケア製品数種(どれも有名製品とのこと)と比較し、マヌカハニーが最も口臭を減少させる結果を得ている。

ニュージーランド・マヌカヘルス(NMH)社が供給元で、国内ではシクロケム(東京都中央区、03-5561-4714

スク拡散法は、物質に抗菌性があるかどうかを確認する目的の手法であり、グレード分けするには正確さに欠けるものであった。そのような中、昨年1月マヌカハニーの抗菌活性物質はメチルグリオキサール「MGO」であることが発見され、正確な抗菌性評価が可能となった。その結果、現在では「UMF」ではなくNMH社の推奨する「MGO」マークのマヌカハニーが注目されている。

さらに、マヌカハニーには他のハチミツと異なる、特異的な抗酸化成分「シリング酸メチル」が含まれていることで、高い抗酸化作用を示しており、これらのことから抗菌作用と抗酸化作用を併せ持つ機能的なハチミツであることが明らかになってきた。

胃内ではヒロリ菌の除菌効果があることを神戸市・中野クリニックで確認しており、現在も追加試験を行っている。

7)が取り扱うニュージーランド産のハチミツ「マヌカハニー」は、広域な抗菌スペクトルにより、摂食するときに口腔、胃、腸において、有意な抗菌効果をもたらすことが知られている。これまでに、ハチミツのグレードに応じて抗菌作用を示す「UMF」マークがその指標とされてきた。しかし、その評価方法のディ

シクロケムの研究で

これに関してシクロケムは、先月開催された展示会フーデックスの中で講演を行った。

さらに腸内ではマヌカハニーが悪玉菌を除去するだけでなく、善玉菌を増殖するプロバイオティクス効果が確認されている。

シクロケムは、先月開催された展示会フーデックスの中で講演を行った。

口腔内の実験では歯垢と歯肉炎出血のスコア共に、マヌカハニーによる改善効果のあることがわ

これらは主にマヌカハニーの抗菌成分MGO(メチルグリオキサール)によるものだが、この成分が特定されたのはつい最近のことである。(抗酸化については次号で掲載)

シクロケムは、先月開催された展示会フーデックスの中で講演を行った。

口腔内の実験では歯垢と歯肉炎出血のスコア共に、マヌカハニーによる改善効果のあることがわ

これらは主にマヌカハニーの抗菌成分MGO(メチルグリオキサール)によるものだが、この成分が特定されたのはつい最近のことである。(抗酸化については次号で掲載)

口腔内の実験では歯垢と歯肉炎出血のスコア共に、マヌカハニーによる改善効果のあることがわ